

KOC通信

Vol.6

2025年 夏号

人工関節の手術 ～対象者・効果と手術の流れ～



小室元医師による両膝人工関節置換術の手術の様子です。
人工関節の手術は、患者様への感染を防ぐためにこのような防護服を着用します。

(撮影：宇多野病院手術室)



医療法人社団 小室整形外科医院

小室整形外科医院

リハビリ リウマチクリニック

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科(膠原病外来)・皮膚科

〒616-8313 京都市右京区嵯峨野開町21 TEL: 075-871-0519

SNS



ホームページ



人工関節の手術

～対象者・効果と手術の流れ～



手術の対象となる方

人工関節置換術は、悪くなった関節の軟骨を含む関節の表面を削り取り、そこに人工関節をかぶせる手術です。人工関節の耐久性は長い場合で20～30年。10年以上入れ替えない確率は95%といわれています。

手術は、変形性関節症や関節リウマチなどで関節の軟骨が消失し、骨が露出している状態に対して行います。

<対象となる方>

- 痛みが酷く、仕事や行楽、日常生活の動作が制限されている方
- 薬やリハビリでは改善しない方
- 変形性膝関節症や関節リウマチなどで関節が腫れて痛みが強い方
- レントゲンなどの画像検査で関節の変形が進行している方

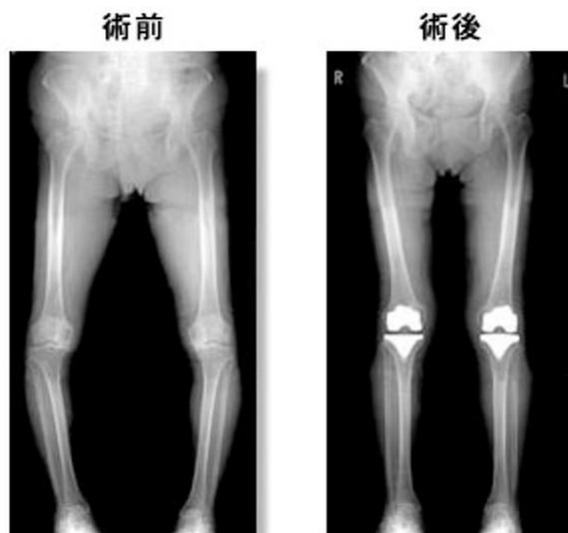
期待される効果

人工関節置換術により、歩行や立ち座り動作が改善され、生活しやすくなります。

<期待される効果>

- 痛みを取り除くこと、または、痛みがほぼ消失すること
- 変形や痛みによって制限されていた関節の動きを取り戻すこと
- 他の関節への負担を軽くすること
- 活動範囲が広がり、下肢の筋力がついてくること

人工膝関節置換術



手術の流れ

人工関節には主に膝と股関節があります。患者様の骨の状態や生活習慣などに応じて、適切な素材や大きさを選択します。

当院の患者様は、連携病院の施設を利用して院長が執刀する場合と連携病院の医師が執刀する場合があります。できるだけ負担の少ない手術を目指しており、手術に要する時間は約1時間半～2時間です。全身麻酔もしくは、脊椎麻酔を選択します。

目標とする運動能力を回復させるために、筋力トレーニングや動作トレーニングなどの術後のリハビリは大変重要です。術後1

日目には起きて車椅子に乗ることができ、2日目からは立ち上がる練習や歩行訓練を開始します。7日目から杖もしくは歩行器で歩く練習をし、可動域訓練や筋力訓練、歩行練習を続けます。2～3週間後に退院許可が出ることが多く、早い方は杖が不要になります。退院後は経過観察とともに外来リハビリを2～3カ月程度続けます。

人工関節の手術に関する疑問は、遠慮なく当院にご相談ください。



YouTube

オンライン診療について

オンライン診療は、スマートフォンやタブレットを用いたビデオ通話形式の診療です。ご自宅やオフィスなど、どこからでも医師の診察を受けていただけます。

当院では以前からオンライン診療を行っていましたが、5月1日より認知症やパーキンソン病などの神経内科とリウマチ膠原病診療について、専門医が担当します。順次他疾患にも広げていく予定です。通院できない方、ご家族が相談されたい方に柔軟に対応します。オンライン診療をご希望の方は、当院にお問い合わせください。



詳細はこちら



<診療分野>

- 認知症やパーキンソン病などの神経内科疾患
- 関節リウマチ・膠原病・乾癬・掌蹠膿疱症
- 生活習慣病・骨粗鬆症などの慢性疾患
- アレルギー・その他皮膚疾患

<対象者>

※初回は当院を受診いただく必要があります。

- 通院が難しい方
- お仕事が忙しい方
- 状態が安定しており投薬治療が必要な方

<患者様にご用意いただくもの>

- スマホ、もしくはタブレット
- マイナ保険証、もしくは、健康保険証(資格証明書)の写真
- クレジットカード

<料金>

通常の保険診療費のほか、システム・通信費用として保険外負担金がかかります。
※交通費や待ち時間の代わりとお考えください。

事務長
解説

新入職員の研修・教育体制

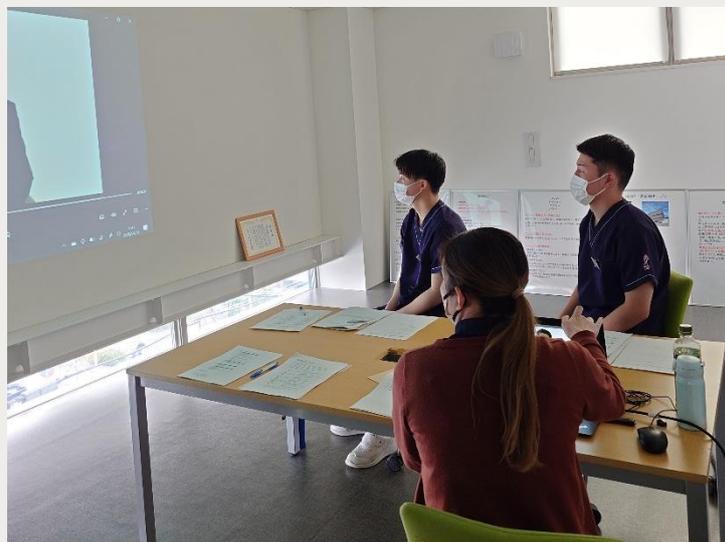
当院の新入職員研修は、医療従事者としての基礎知識やスキル、そして組織の一員としての意識を高めることを目的としています。

4月の新入職員研修では、「診療理念」をはじめ、「当院の歴史」「基本的な電話対応の習得」「患者様への接遇」「身だしなみ」「敬語・言葉遣い」「医療に関する基礎知識」「医療安全・法令順守・コンプライアンス」などの研修を行いました。

それから、実務に即したシミュレーションや先輩職員からの指導を通じ、現場で即戦力として活躍できるスキルを身につけていきます。

患者様に最善の医療を提供するには、まずは、職員が安心して業務に取り組める環境整備が重要だと考えています。

当院職員としての自覚をしっかりと身につけ、安全で質の高い医療を提供するために日々研鑽を積んでいきます。



解説者：小室 尚(事務長)

連携施設
紹介

京都第二赤十字病院 整形外科

～副院長・整形外科部長の藤原先生にお話を伺いました～



京都第二赤十字病院

京都市上京区釜座通丸太町上ル
春帯町355番地の5
TEL : 075-231-5171



京都第二赤十字病院は、京都府に2箇所しかない「高度救急救命センター」です。整形外科には12名の医師が在籍し、24時間体制で救急外傷を受け入れます。特徴的なのは切断肢の治療です。専門技術で血管や神経を縫い合わせ、指肢の再接着を行います。整形外科の3つの柱は、脊椎・人工関節・手の外科ですが、ロボットやナビゲーションを利用し、安全かつ精度の高い手術を心掛けています。

患者様は、右京区からの受診が最も多いです。小室整形外科医院様のような地域の医療機関とは、術後のリハビリ連携を強化できればと考えています。基本的に、地域からのご紹介は断らない方針です。WEB予約も可能ですので、遠慮なくご連絡ください。

(藤原副院長・整形外科部長 談)

地域取材

梅花堂薬局

～患者様と薬剤師の人と人との繋がりを大切にしています～



梅花堂薬局

京都市右京区嵯峨野開町21
北棟1階
TEL : 075-468-1002



梅花堂薬局が心掛けているのは、患者様に安心・納得してお薬を服用いただけるよう、わかりやすい説明をすることです。日頃から医療機関の医師やスタッフと連携し、相談したり治療方針や処方目的を伺ったりすることもあります。常に同じ顔ぶれの薬剤師がいるのも強みの一つです。顔なじみのスタッフが対応することで患者様の体調変化に気づき、これまでの生活背景などの情報を適切な薬の説明に活かしています。また、患者様をお待たせしないように自慢のチームワークでスピーディーに対応します。小室整形外科医院様の裏にありますが、どこの医療機関からの処方箋も受け付けています。お気軽にご相談ください。

(岡野政典管理薬剤師・岡野祥子薬剤師 談)



医療法人社団 小室整形外科医院

小室整形外科医院

リハビリ リウマチクリニック

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科(膠原病外来)・皮膚科

〒616-8313 京都市右京区嵯峨野開町21 TEL : 075-871-0519

SNS



ホームページ

